

## 市民協働モデル事業検証

事業名 六ツ師地区児童遊園及び親水広場清掃維持管理事業  
事業内容 六ツ師地区内の児童遊園の清掃・除草・樹木剪定  
作成者 六ツ師協働隊、施設管理課、市民活動推進課  
作成日 平成26年3月3日

### ○事業のチェック

(「十分できた」「まあまあできた」「あまりできなかった」「全くできなかった」から協議して選択)

- ・事業を行うことにより、市民や地域に貢献できましたか

**まあまあできた**

**児童遊園の清掃・除草・剪定など委託された業務は不足無いが、さらに地域に貢献できることを進めたい。(六ツ師協働隊)**

- ・事業計画(スケジュール・予算)は予定どおり進められましたか

**まあまあできた**

**スケジュールや予算は、調整しながら範囲内で行った。(六ツ師協働隊)**

- ・事業を継続、発展させるため改善策を考えましたか

**まあまあできた**

**初めての試みであり、回を重ねるごと適宜改良を心がけた。(六ツ師協働隊)**

- ・投入した費用に対して高い成果を得られましたか

**十分できた**

**従来の管理経費を削減できた。(施設管理課・市民活動推進課)**

### ○協働のチェック

- ・行政との協議の場を設け、意思疎通、情報共有を行えましたか

**十分できた**

**事業を進めるにあたっては、協議を重ねた。(六ツ師協働隊・市民活動推進課)**

- ・事業を行うことにより、多様な人や団体が参画、協働し、つながる機会がありましたか

**十分できた**

**地域でもちつき大会を開催するなど、公園の維持管理以外の活動に発展した。(六ツ師協働隊)**

- ・組織内部で協議の場を設け、組織内での意思疎通、情報共有を行えましたか

**まあまあできた**

**事業については、組織内部でよく話し合った。(六ツ師協働隊)**

- ・当初想定した役割を果たすことができましたか

**まあまあできた**

**委託された公園の維持管理については、役割を果たせたと思う。(六ツ師協働隊)**

- ・協働で行うことにより、事業の効果を上げることができましたか

**十分できた**

事業についてのふりかえり

○事業を実施して「よかった」と思えること

- ・月2回の活動により、清掃・維持管理が以前にも増して充実し、適正に管理できた。(六ツ師協働隊、施設管理課、市民活動推進課)
- ・費用対効果として、業者委託よりも事業費が削減できた。(施設管理課)
- ・市民協働という手法を伝える模範として、わかりやすく協働事業を市民にPRすることができた。(市民活動推進課)
- ・作業委託を通じて、地域活動の場、会員のコミュニティ意識の醸成ができた。(六ツ師協働隊)
- ・「もちつき大会」など委託事業以外にも地域の繋がりを創る活動に発展した。(六ツ師協働隊)
- ・六ツ師協働隊の活動が知られるようになり、地域の住民が児童遊園に愛着を持って、きれいに使ってくれるようになった。(六ツ師協働隊)

○事業を実施しての課題

- ・事業開始当初に、清掃によって出たゴミ袋について苦情があった。一般のゴミとは区別するシールを貼って対応した。(市民活動推進課)
- ・児童遊園の環境美化は進んだが、地区外居住者の幹線道路や河川へのポイ捨てが多い。ポイ捨てを予防する方法は無いか。(六ツ師協働隊)
- ・地域内外に、さらに活動がPRできると良い。(市民活動推進課)
- ・清掃道具保管場所は、自治会防災倉庫を間借りしているが、専用のものが欲しい。(六ツ師協働隊)

協働についてのふりかえり

○協働で事業を実施して「よかった」と思えること

- ・作業時間を早朝に設定したり、時期を雑草が繁殖する前に集中して実施したりするなど、市民活動の特性を活かして、適時に作業することにより効率を上げた。(市民活動推進課)
- ・委託事業以外にも、自治会、学校関係者と協働し、平成24年度は秋まつり、平成25年度は地区小学校でもちつき大会を開催した。地域の絆を深めるとともに、子どもの健全育成に貢献できた。(六

## ツ師協働隊)

### ○協働事業を行う上での課題

- ・秋まつりやもちつき大会など、清掃活動以外に事業を拡大したため、地域企業の協賛金を募ったが、  
今後も、事業を拡大していった場合に、活動資金をどう捻出するか。(六ツ師協働隊)

### ○事業の継続

- ・事業の今後について、「このまま協働事業として続けていきたい」「協働事業を見直すべきである」「その他」の中から、3者で協議して選択

**このまま協働事業として続けていきたい**